



# 復興まちづくり通信

一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



## 伊里前福幸商店街移転新築工事 起工式 ～復興のシンボル 来年4月オープン～

東日本大震災の年の12月に開設され、今年2月から場所を移して運営されてきた仮設の「伊里前福幸商店街」が、本設商店街として震災以前の場所に建設されることになり、10月19日、現地で起工式が行われました。新商店街は敷地面積が4,123㎡、木造平屋建て2棟で延べ床面積は約670㎡です。

(伊里前福幸商店街の完成予想イメージ図  
＝隈研吾建築都市設計事務所提供)

テナントは飲食2店、生活関連5店、鮮魚店1店、計8店が出店。正面には多岐にわたるイベントの開催が可能なフリースペースが設けられます。駐車台数は約50台。国道沿いの高いアクセス性を生かし、観光客の誘致も目指します。設計は、国立競技場のデザインを手掛けた建築家の隈研吾氏によるものです。

## 高速道路上で「ふれあいウォーキング」開催 ～三陸道志津川IC開通でイベント～

三陸沿岸道路「登米志津川道路」の三滝堂IC～志津川IC間が10月30日に開通しました。開通を記念するイベント「ふれあいウォーキング」が10月23日に開催され、町民などおよそ350人が参加。待ちに待った道路の開通を前に、普段は歩くことのできない高速道路上のウォーキングを楽しみました。三陸道が県内の被災地に延伸するのは初めてで、志津川～南三陸海岸ICは本年度中に開通する予定です。



(秋風を感じながらウォーキングを楽しむ参加者)

## 椿のたね拾いツアーで復興状況を見学

### ～志津川東公営住宅入居者が町内巡り～

志津川東復興公営住宅の入居者が 10 月 10 日、町内巡りのバスツアーを楽しみました。復興みなさんが企画したもので、住民 9 人が参加。志津川上山八幡宮と戸倉神社の境内でつばきのたね拾いをしたほか、復興みなさん会のメンバーの案内で、志津川や戸倉地区の復興工事の進み具合を確かめました。昼食時には、入谷のひころの里に移動。「ばっかり茶家」で会食をしながら交流を深めました。



(拾った椿のたねを手にして笑顔で記念撮影する参加者たち＝志津川上山八幡宮の境内にて)



(ノコギリを使って板材をカットする女性の入居者)

## 入居者がベンチづくりに挑戦 ～伊里前復興住宅で日曜大工講座～

伊里前復興住宅自治会が主催する「日曜大工講座」が 10 月 24 日、同住宅集会所前で開催され、入居者 10 人がベンチづくりに挑戦しました。参加者たちは、本職の大工さんの指導と復興みなさん会のメンバーの手助けを受けながら、慣れない手つきながらノコギリなどを使った作業に励み、3 人掛けのベンチを完成させました。休憩時には、椿茶と「たらすもち」のおやつで和気あいあいと交流を深めました。出来上がったベンチは集会所前の芝生の上に置かれ毎日使われています。

## 旬の食材を使った調理実習で交流会 ～戸倉復興住宅で栄養教室～

戸倉復興公営住宅で 10 月 28 日、「栄養教室」が開催され、入居者 15 人が参加しました。町保健福祉課、味の素グループ、などが主催したもので、管理栄養士の講話や調理実習、会食が行われました。

調理実習では、ヘルスメイトらのアドバイスを受けながら、「春菊と桜えびの混ぜご飯」「サバの漬け焼き」「柿なます」「りんご寒天」に挑戦しました。完成後は早速試食会を開き、入居者同士の交流を楽しみました。



(調理実習の様子＝町営戸倉復興住宅集会所)

一般社団法人 復興みなさん会



ジャパン・プラットフォーム (JPF) 「共に生きる」ファンド助成事業

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山 26  
上山八幡宮 社務所内 [minasan.msrk@gmail.com](mailto:minasan.msrk@gmail.com)